

会員が主役の支部活動をすすめてみましょう

さかいわ支部ニュース

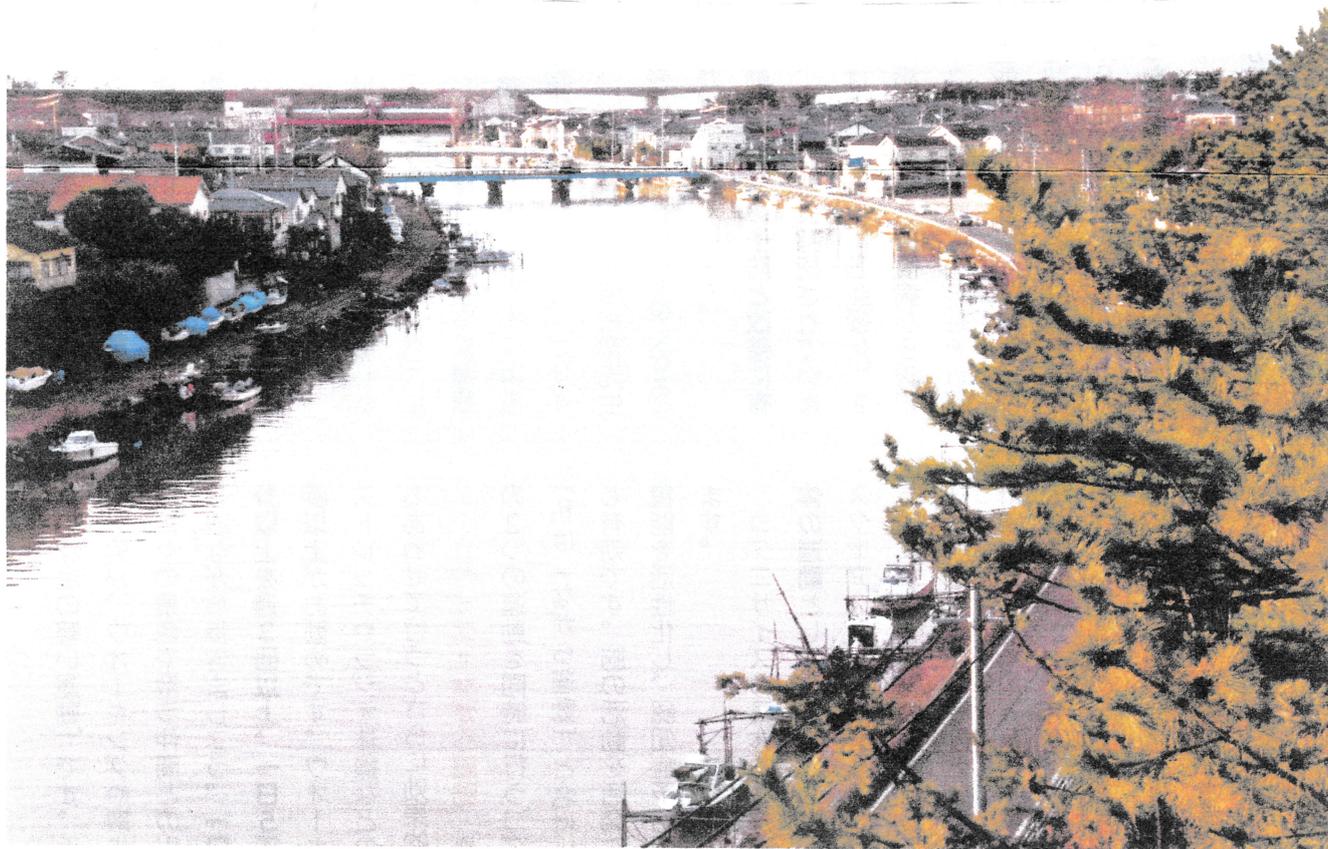
さかいわ 坂井輪 仲間の輪

2020年3月 NO.166

さかいわ支部長 渡辺 豊（小新西）

新潟勤労者医療協会 坂井輪総支部

弥生 啓蟄 春彼岸



写真は新川元橋から見た新川下流の河口側です。新川は江戸時代後期、文政3年（1820）に周辺の村々の協力で開削された人工河川です。鎧潟、田潟、大潟の三つの潟湖の湛水を日本海に排水することで、洪水被害の縮小や新田開発の推進がはかられました。しかし当時モザイクのように入り組んだ幕領、藩領との調整。内野を通る西川との立体交差事業。掘割による西川の水位低下による舟運業者の反対。更には三潟の漁業者の反発。内野金蔵坂の開削など、新川の通水には困難な課題が山積でした。この課題を解決し、完成したのが内野新川です。

新川を槇尾大橋から河口側に見てみると、今は鋼鉄製の西川水路橋ですが、当時は木製の樋による立体交差。新川元橋の高さでわかる、高い砂丘列の開削など工事の苦労がしのべられます。

さかいわ支部では4月に、以前「西区てくてくウォーキングマップ」で紹介された「内野 町めぐり川めぐり」コースを歩きます。詳しくは別紙案内をご覧ください。

（写真 寺尾朝日通 土田 豊さん）

裏面に民医連の月刊誌「いつでも元気」の記事「お金をかけない健康法」を転載しました。皆さん「いつでも元気」誌を読んでみませんか。見本誌は渡辺か友の会事務局へ。